

取付説明書

アルパイン

11型ナビゲーションユニット用取付キット

車 種	年 式	型 式	車 種	年 式	型 式
CX-5 ※純正BOSEサウンド システム装着車を除く ※マニュアル車を除く	H29/2～現在	6BA-KFEP 6BA-KF5P 3DA-KF2P	CX-8 ※純正BOSEサウンド システム装着車を除く ※マニュアル車を除く	H29/12～現在	3DA-KG2P
CX-5 ※純正BOSEサウンド システム装着車	H29/2～現在	6BA-KFEP 6BA-KF5P 3DA-KF2P	CX-8 ※純正BOSEサウンド システム装着車	H29/12～現在	3DA-KG2P

2021年2月現在のものです。2月以降の車両は変更されている場合があります。

2021年2月現在のものです。2月以降の車両は変更されている場合があります。

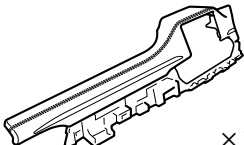
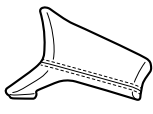
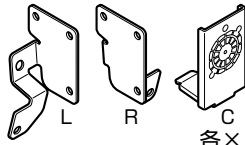
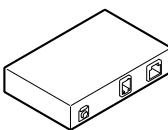
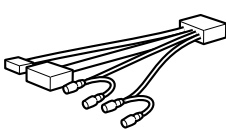
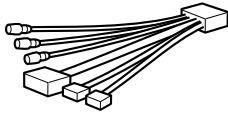
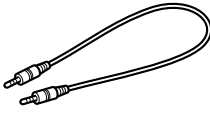
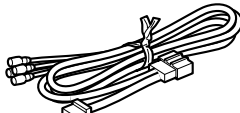
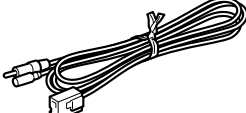
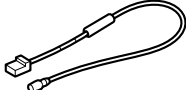
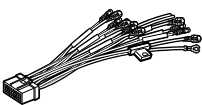
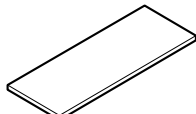
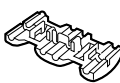
ここでの説明は、車両部品の取り外し、キットの取付・配線位置の説明に限らせていただきます。
各製品の取り扱いは、製品付属の取扱説明書をご確認ください。
取り付けの際は、製品付属の取付説明書に記載されている注意事項を必ずお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。

※取り付け作業の前に、バッテリーのマイナス端子を外してください。

1

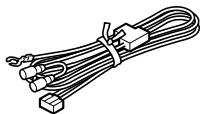
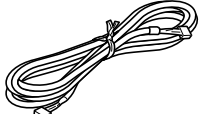
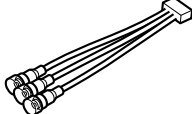
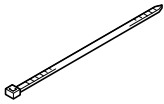
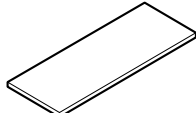
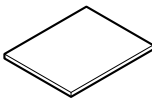
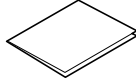
構成部品

■取付キット

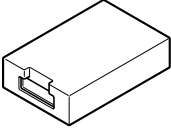
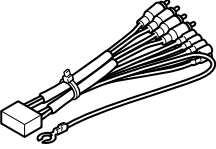
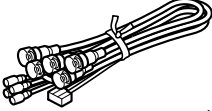
専用センタークラスターパネル	専用メーターサイドパネル	取付ブラケットL・R・C	インターフェースボックス	インターフェースボックス接続ケーブルA
 ×1	 ×1	 L R C 各×1	 ×1	 ×1
インターフェースボックス接続ケーブルB	AUX-INケーブル	スピーカー接続ケーブル	ラジオアンテナ接続ケーブル	パーキングブレーキコード
 ×1	 ×1	 ×1	 ×1	 ×1
電源コード	クッションテープ(75mm×250mm)	CAN接続ケーブル	エレクトロタップ	
 ×1	 ×3	※360°ビュー・モニター搭載車は使用しません。  ×1	※360°ビュー・モニター搭載車は使用しません。  ×2	

■インターフェースボックス (IFB-N200)

 部の部品は使用しません。

インターフェースボックス	電源接続ケーブル	AVN接続ケーブル	カメラ接続ケーブル	カメラ延長ケーブル
 ×1	 ×1	 ×1	 ×1	 ×1
タイラップ	クッションテープ(75mm×250mm)	両面テープ(80mm×65mm)	取扱説明書	
 ×5	 ×1	 ×1	 ×1	

BOSE用取付キット (KTX-XF11-CX5-KF-BS/KTX-XF11-CX8-KG-BS専用)

BOSE用ラインアンプ	BOSE用ラインアンプ接続ケーブル	プリアウトケーブル(KCE-200EX)
 ×1	 ×1	 ×1

2

必要工具

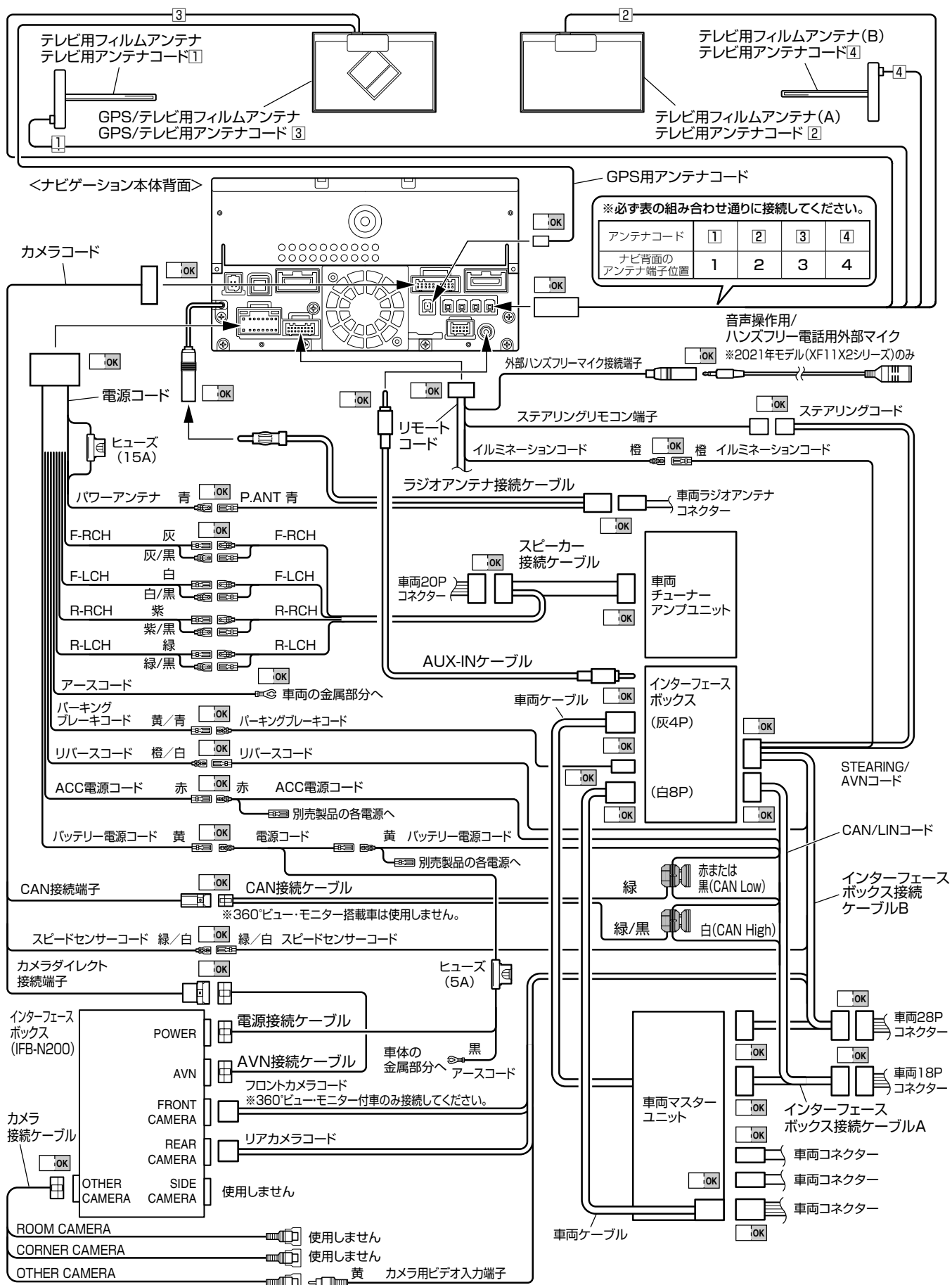
プラスドライバー、マイナスドライバー、クリップはずし、10mm レンチ、マスキングテープ、カッターナイフ、定規、保護手袋（軍手など）

アルパイン製ナビゲーション 2020/2021 年モデル (XF11NX/XF11NX2 シリーズ) との接続例です。

※ 2019 年以前のモデルとは接続できません。

■基本接続図

(誤接続を防ぐために、接続するごとに ☐ OK に ✓ 点をつけてください)

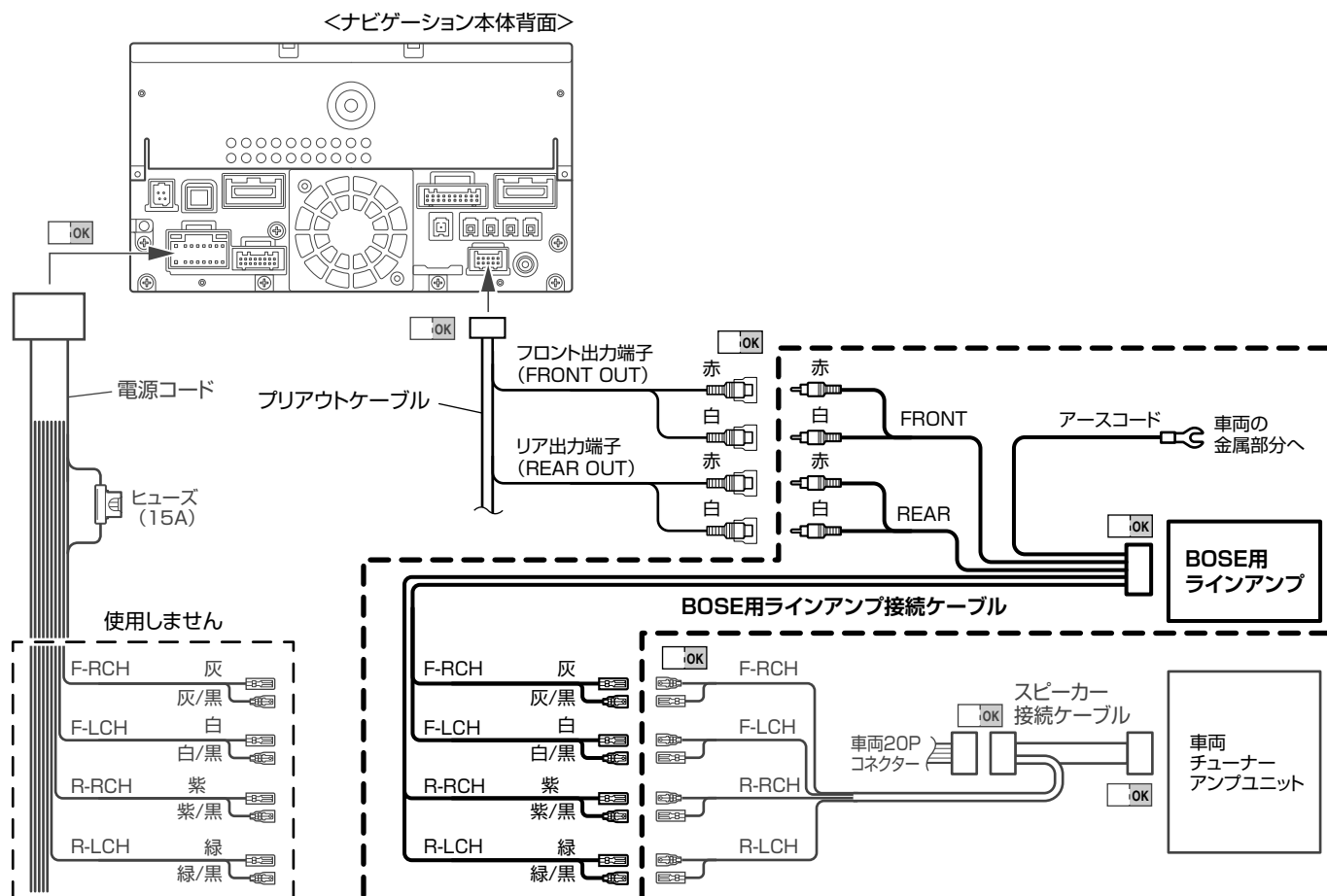


※配線の仕様は予告なく変更することがあります。

純正BOSEサウンドシステム装着車は以下の位置にBOSE用ラインアンプ/接続ケーブル、プリアウトケーブルを接続します。

■基本接続図

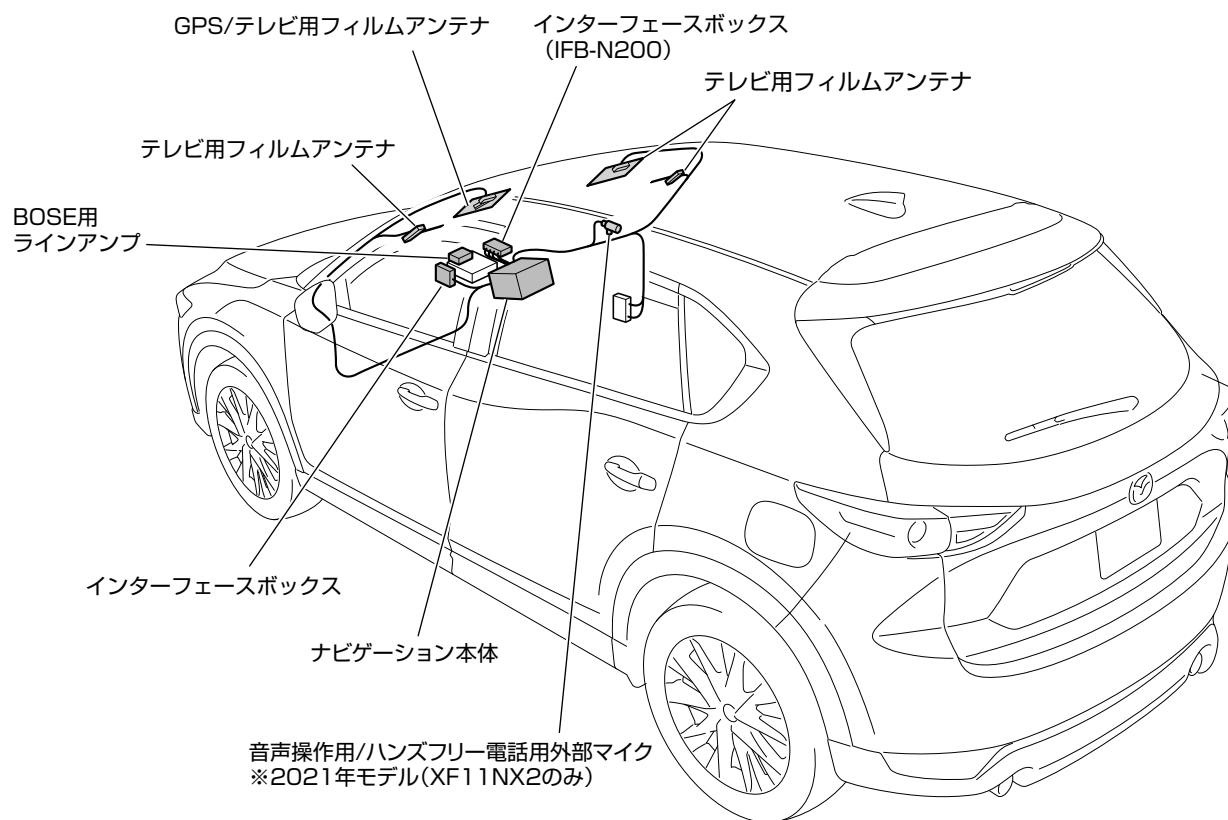
(誤接続を防ぐために、接続することに  に ✓ 点をつけてください)



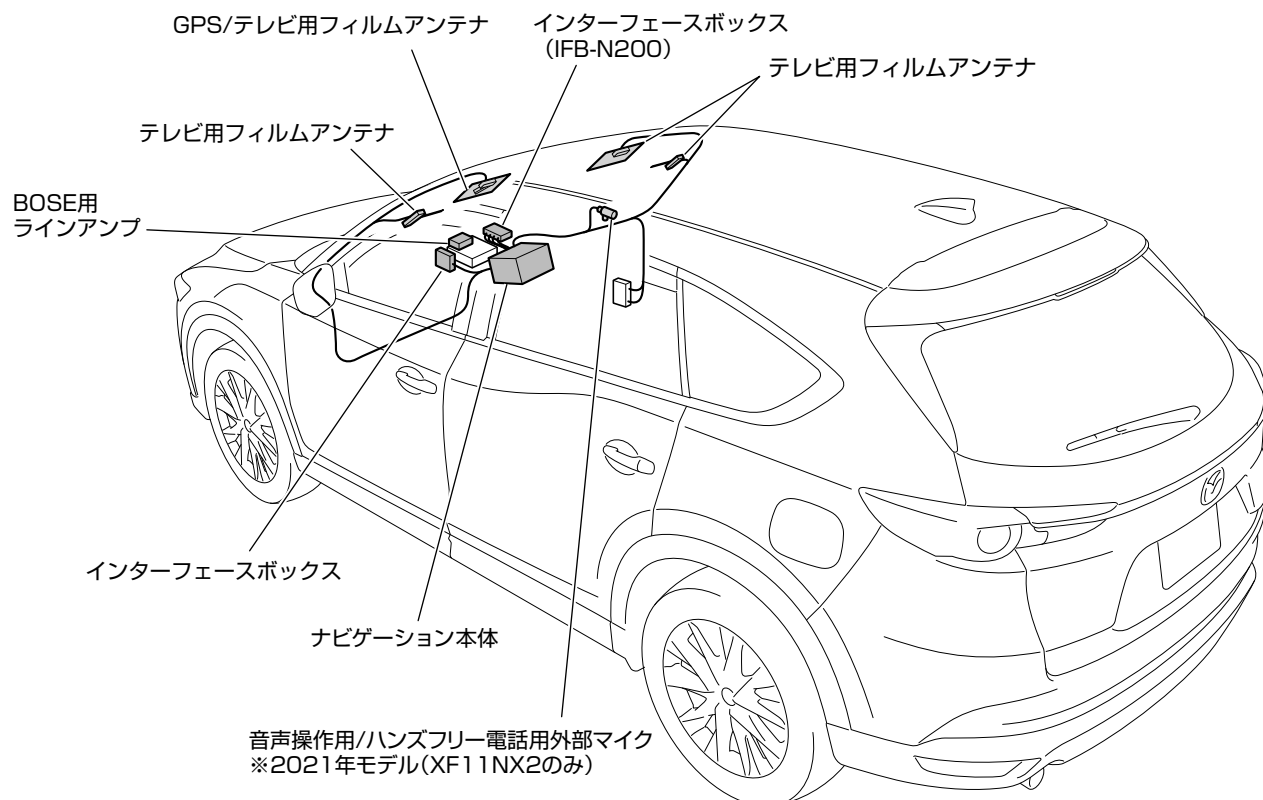
※配線の仕様は予告なく変更することがあります。

1. 取付概要

<CX-5>

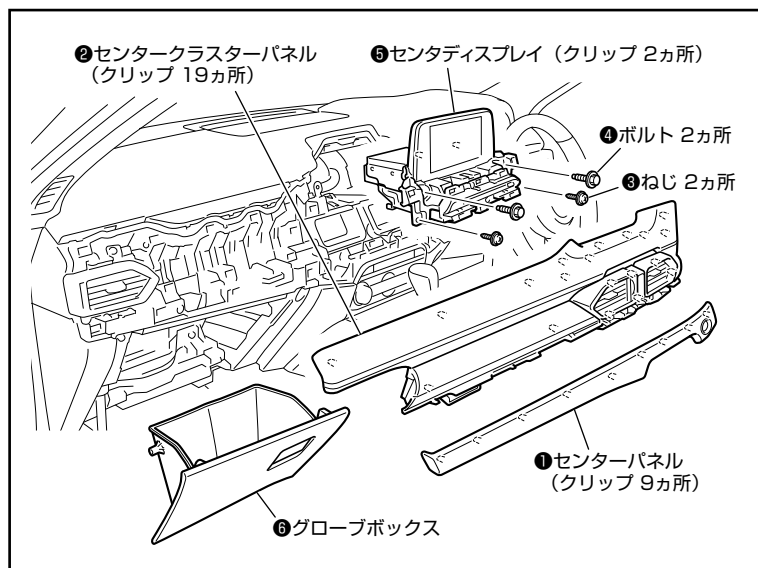


<CX-8>



※図は製品を取り付けた取付概要図になります。

2. 車両部品の取り外し



■インパネ周り

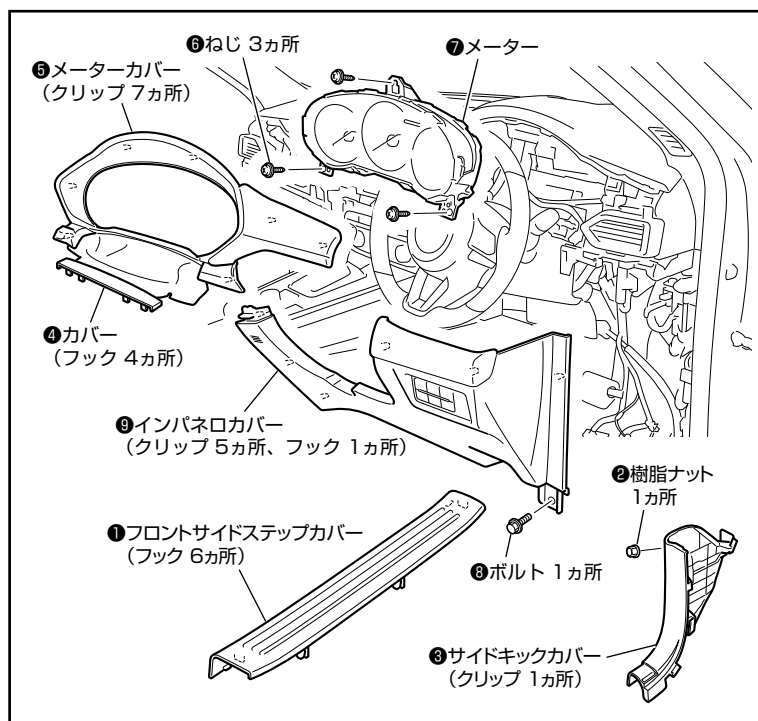
1. 左図を参照して内装部品を外します。番号順に取り外してください。



注意 ●キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
●ねじの紛失にご注意ください。



Memo 各ガーニッシュ取り外しには、クリップはずしを使用します。



■メーター周り

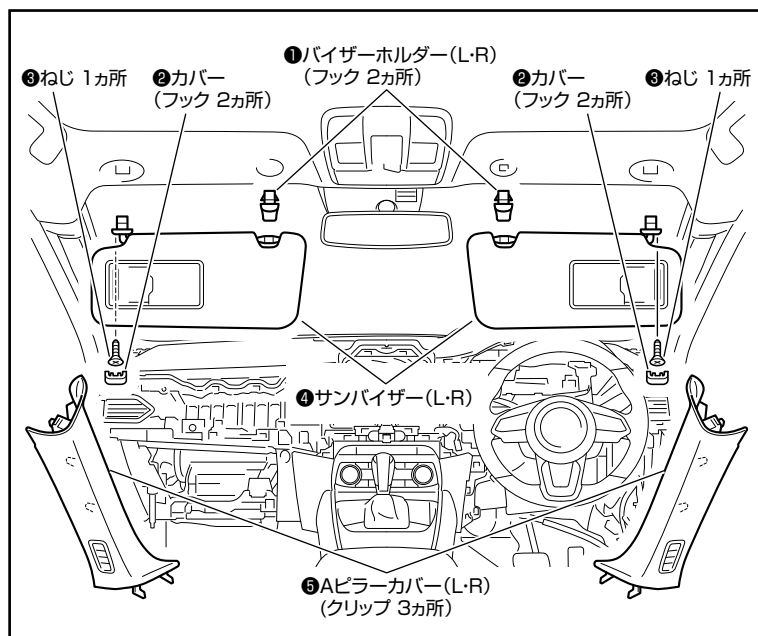
1. 左図を参照して内装部品を外します。番号順に取り外してください。



注意 ●キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
●ねじの紛失にご注意ください。



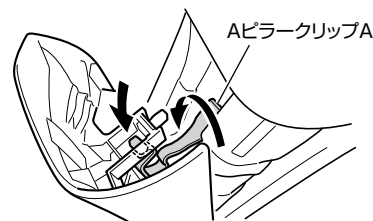
Memo 各ガーニッシュ取り外しには、クリップはずしを使用します。



■ピラー周り

1. 左図を参照して内装部品を外します。番号順に取り外してください。

Aピラークリップは90°回して外します。



注意 キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。

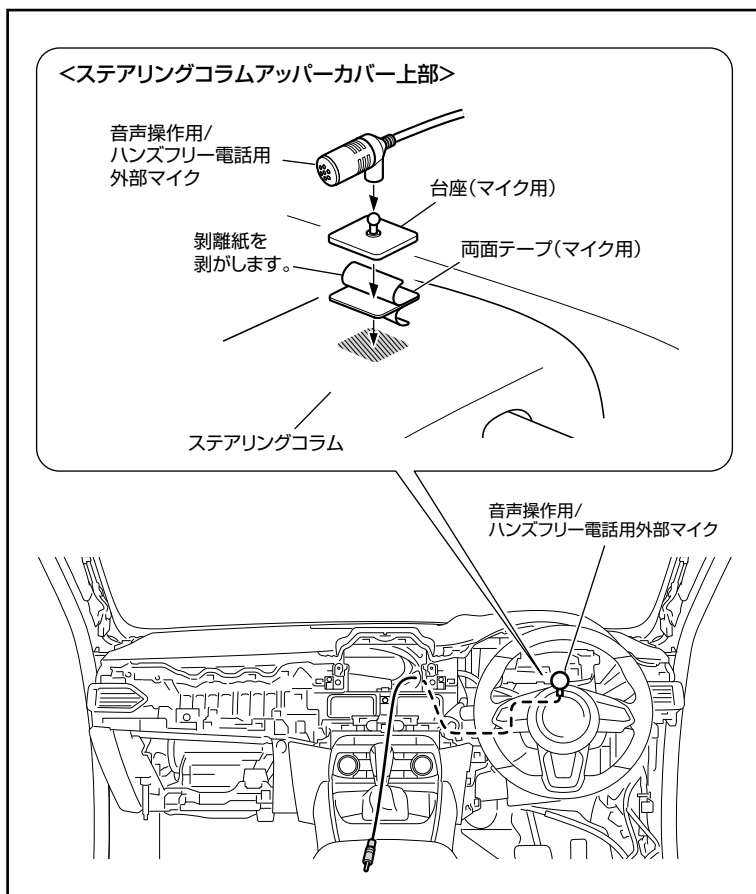


Memo 各ガーニッシュ取り外しには、クリップはずしを使用します。

3. 音声操作/ハンズフリー電話用外部マイクの取り付け(XF11X2シリーズのみ)

■音声操作/ハンズフリー電話用外部マイクの取り付け

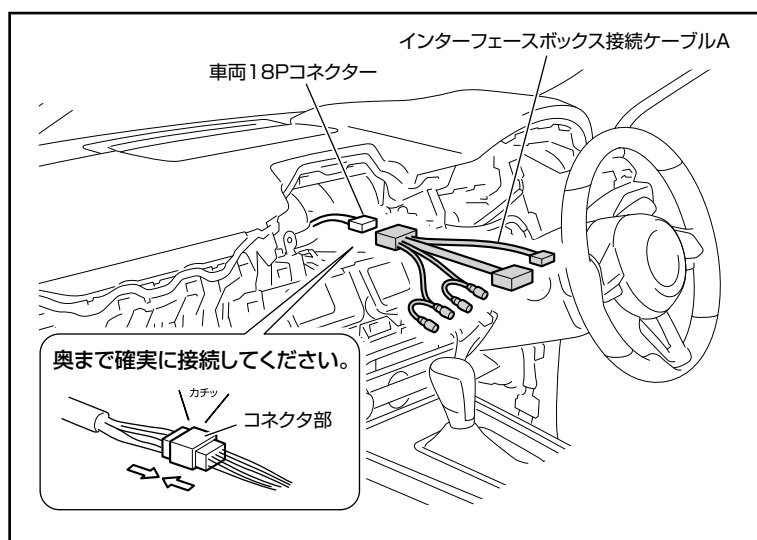
1. ステアリングコラムの上側に音声操作/ハンズフリー電話用外部マイクを取り付けます。



⚠ 注意

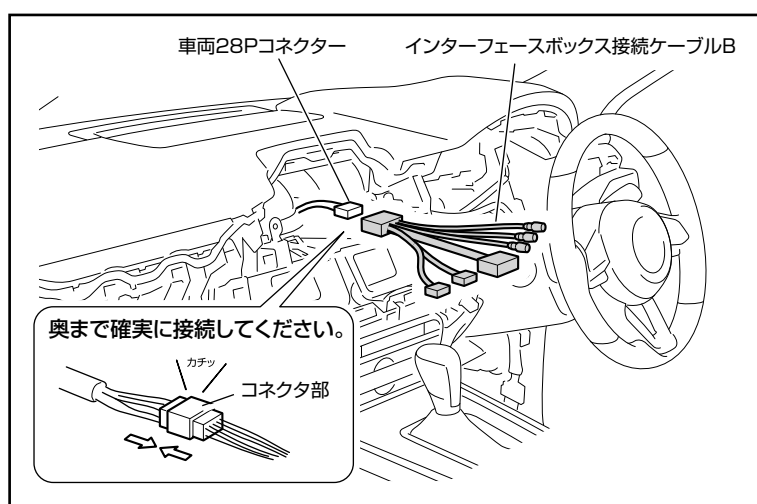
- ステアリングの調整機構(チルト・テレスコピック)に影響の無い位置に取り付けてください。
- 音声操作/ハンズフリー電話用外部マイクのコードは、ハンドル操作やブレーキ操作、視界など運転操作の妨げにならないように配線してください。
- 音声操作/ハンズフリー電話用外部マイクは、ドライバーの声が拾いやすい場所に取り付けてください。発話するとき、姿勢が変わる様なことがあると、走行中の安全に支障をきたします。ドライバーの声が拾いやすい様に、マイクの向きや距離を考慮してから取り付けてください。
- 音声操作/ハンズフリー電話用外部マイクを取り付けないと、ハンズフリー及び音声認識機能が使えません。

4. 各ケーブルの接続



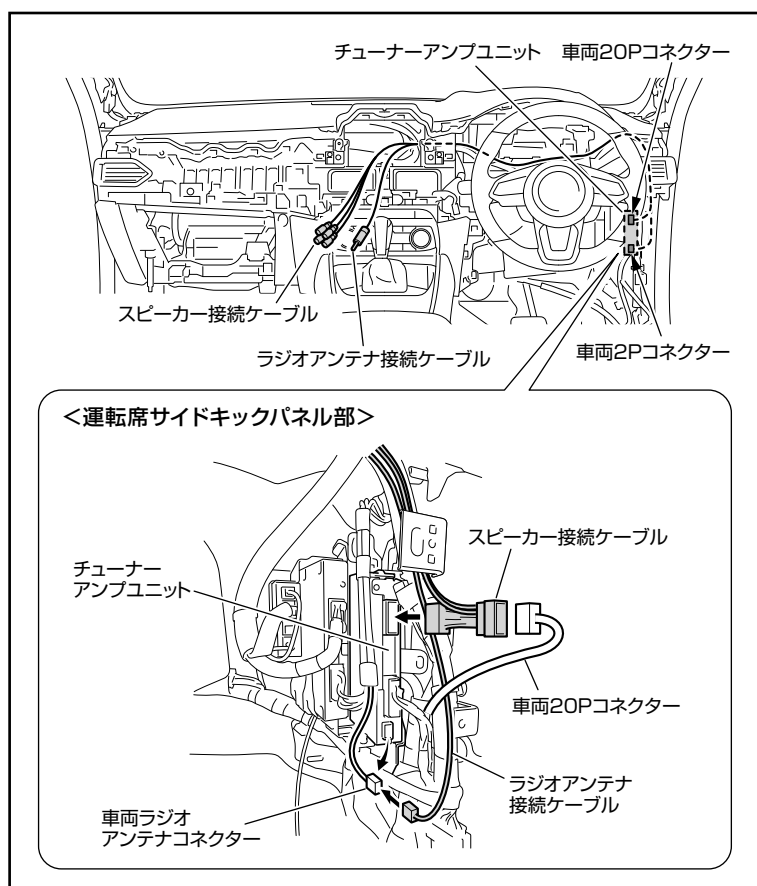
■インターフェースボックス接続ケーブルAの接続

1. オーディオ取付部にある車両18Pコネクタに、インターフェースボックス接続ケーブルAを接続します。



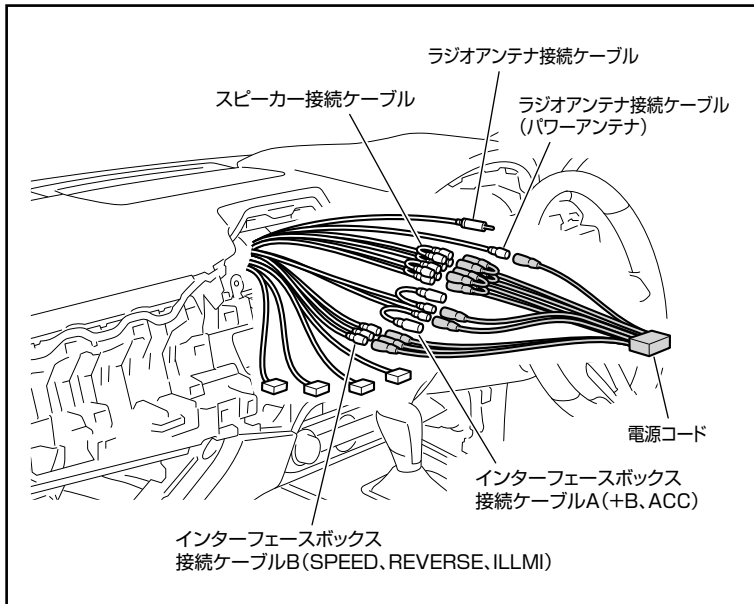
■インターフェースボックス接続ケーブルBの接続

1. オーディオ取付部にある車両28Pコネクタにインターフェースボックス接続ケーブルBを接続します。



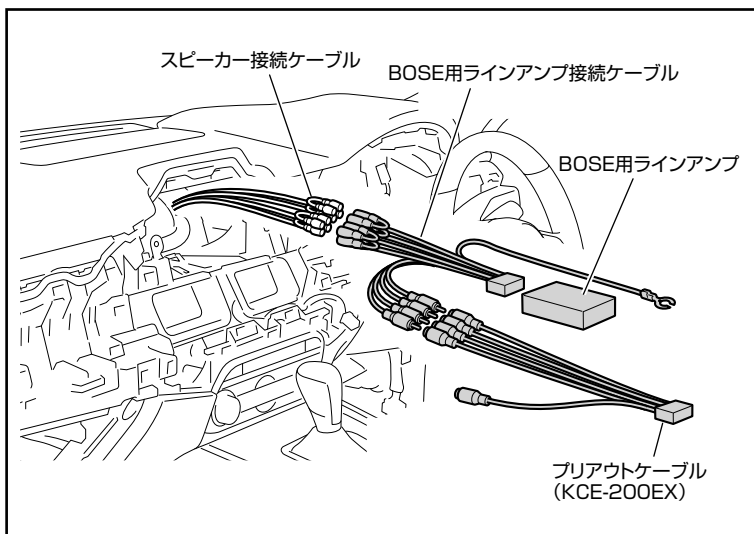
■スピーカー接続ケーブル、ラジオアンテナ接続ケーブルの接続

1. 運転席足元にあるチューナーアンプユニットの車両20Pコネクタにスピーカー接続ケーブルを割り込み接続します。
2. 運転席足元にあるチューナーアンプユニットの車両ラジオアンテナコネクタを取り外し、車両ラジオアンテナコネクタにラジオアンテナ接続ケーブルを接続します。



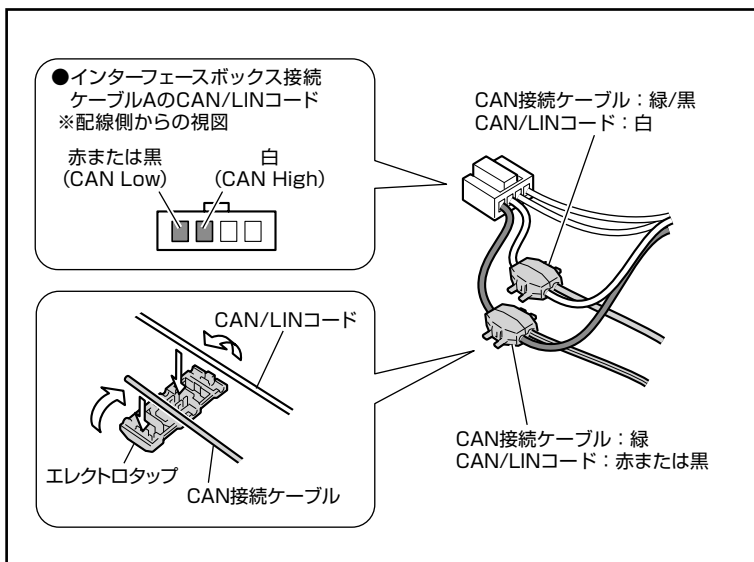
■電源ケーブルの接続

1. 接続図を参照し、インターフェースボックス接続ケーブルA、インターフェースボックス接続ケーブルB、スピーカー接続ケーブル、ラジオアンテナ接続ケーブルに電源コードを接続します。



■BOSE用ラインアンプ接続ケーブルの接続 (純正BOSEサウンドシステム装着車のみ)

1. 接続図を参照し、BOSE用ラインアンプ接続ケーブルをプリアウトケーブルとスピーカー接続ケーブルに接続します。
2. BOSE用ラインアンプ接続ケーブルのアースコードを車両の金属部分に接続します。



■CAN接続ケーブルの接続

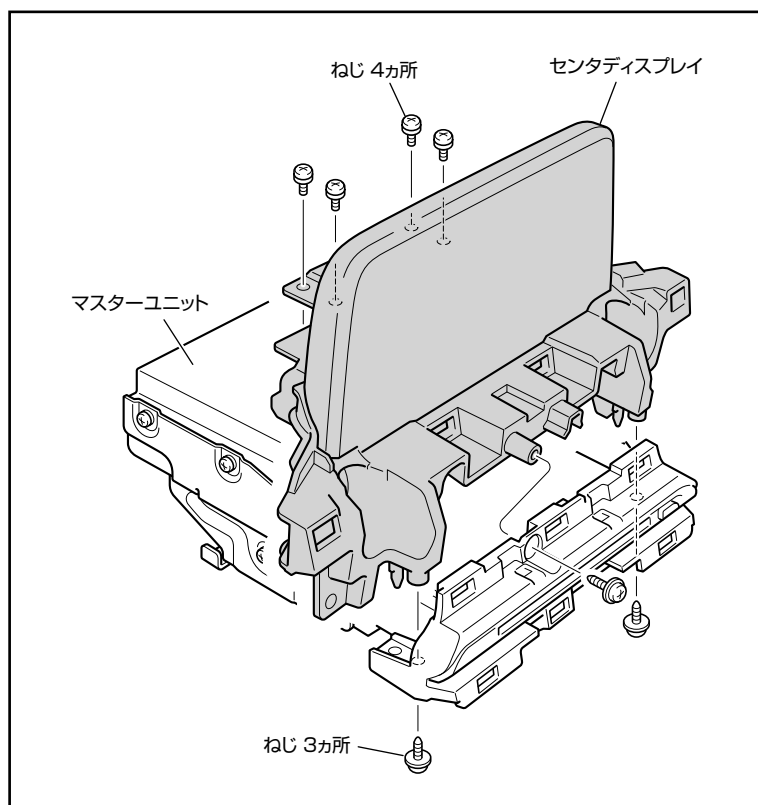
※360° ビュー・モニター搭載車は使用しません。

1. 接続図を参照して、CAN接続ケーブルをインターフェースボックス接続ケーブルAのCAN/LINコードに接続します。

	CAN 接続ケーブル	CAN/LIN コード
CAN High	緑 / 黒	白
CAN Low	緑	赤または黒

- 注意**
- エレクトロタップはプライヤーで確実に圧着してください。
 - 車両配線を断線させないようにご注意ください。
 - 指定の接続位置に正しく接続しなかった場合、車両の走行・動作に支障をきたすおそれがあります。間違えないように確実に接続してください。

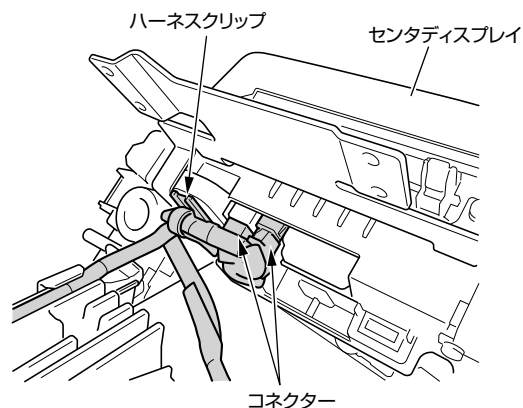
5. マスターユニットの設置



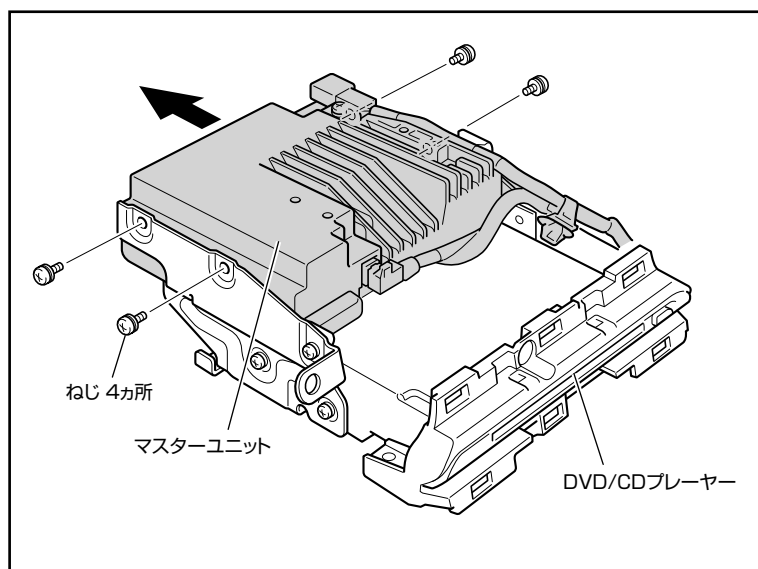
■マスターユニットの取り外し

1. センタディスプレイをマスターユニットから取り外します。
2. センタディスプレイに接続しているコネクターとハーネスクリップを取り外します。

<センタディスプレイ裏側>

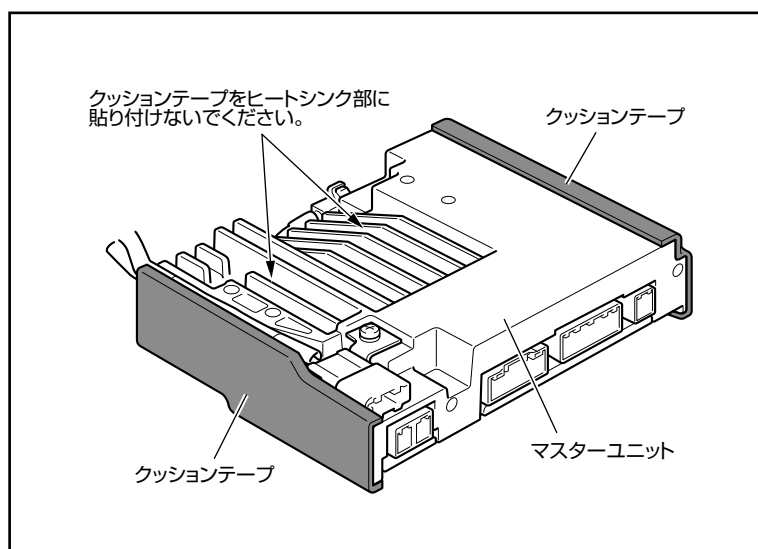


3. マスターユニットをDVD/CDプレーヤーから取り外します。



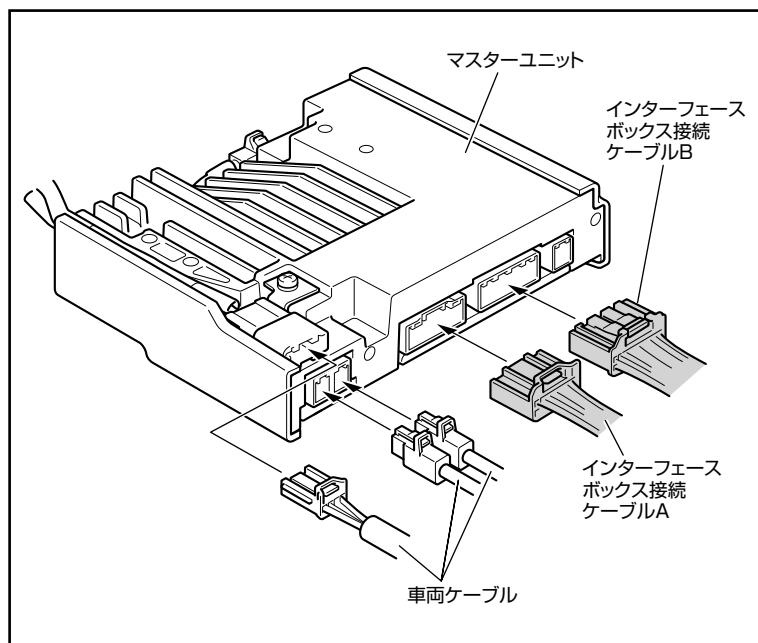
■クッションテープの貼り付け

1. マスターユニットにクッションテープを貼り付けて保護します。



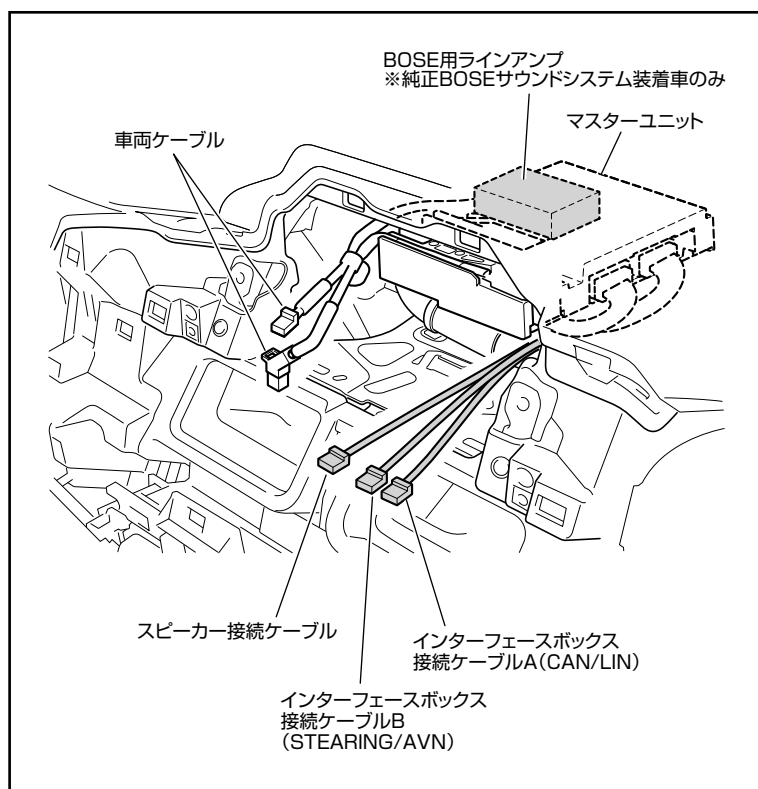
注意

クッションテープは必要な長さにカットして使用してください。



■各ケーブルの接続

1. 接続図を参照して、マスターユニットに各ケーブルを接続します。



■マスターユニットの設置

1. オーディオ取付部奥にマスターユニットを設置します。



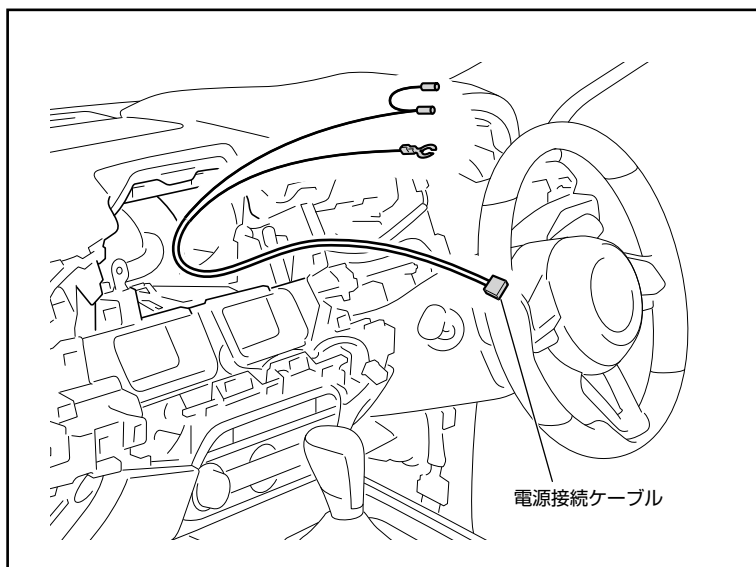
注意

- BOSE用ラインアンプは図の位置に設置してください。
- ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

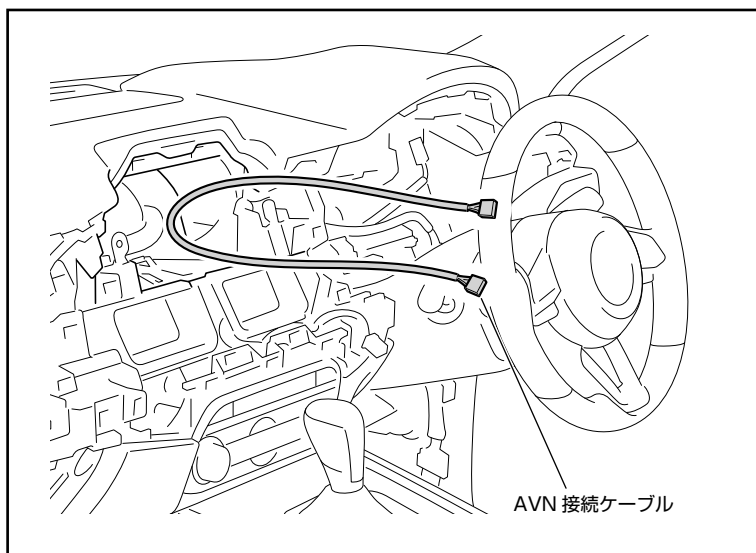
6. インターフェイスボックス (IFB-N200) の取り付け

■各ケーブルの配線

1. 電源接続ケーブルをオーディオ取り付けスペースに配線します。

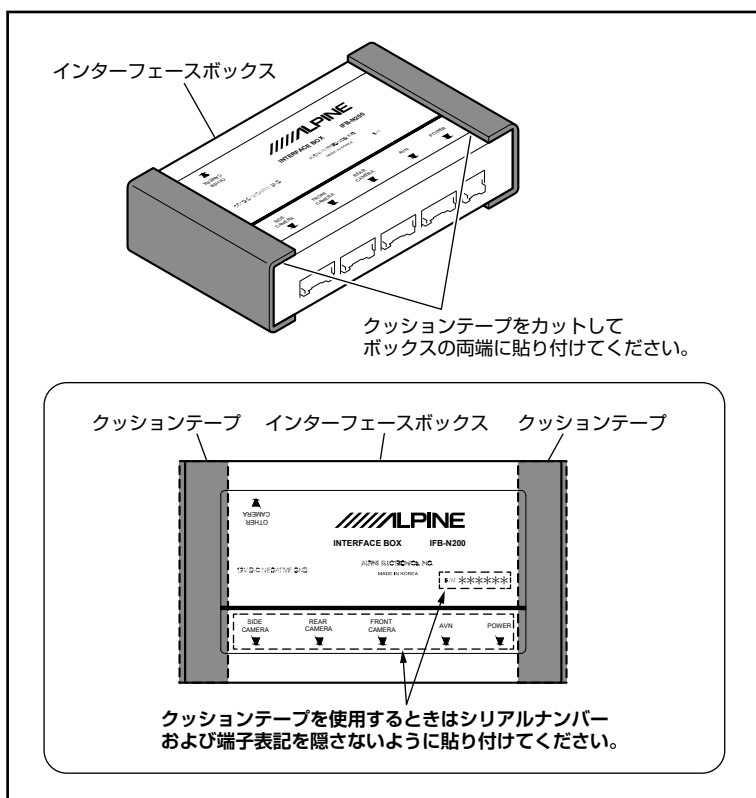


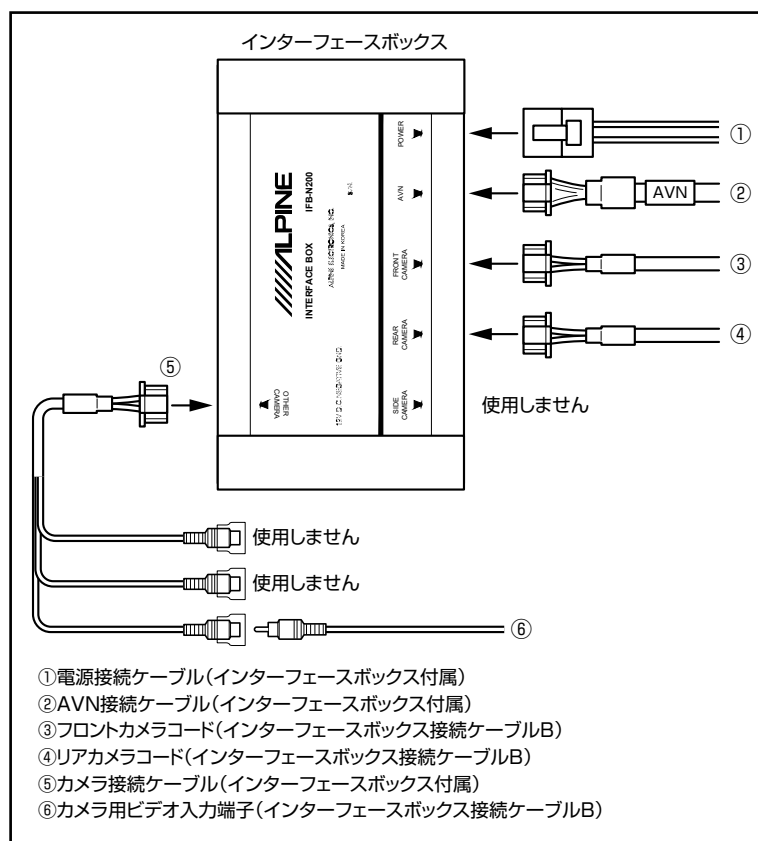
2. AVN接続ケーブルをオーディオ取り付けスペースに配線します。



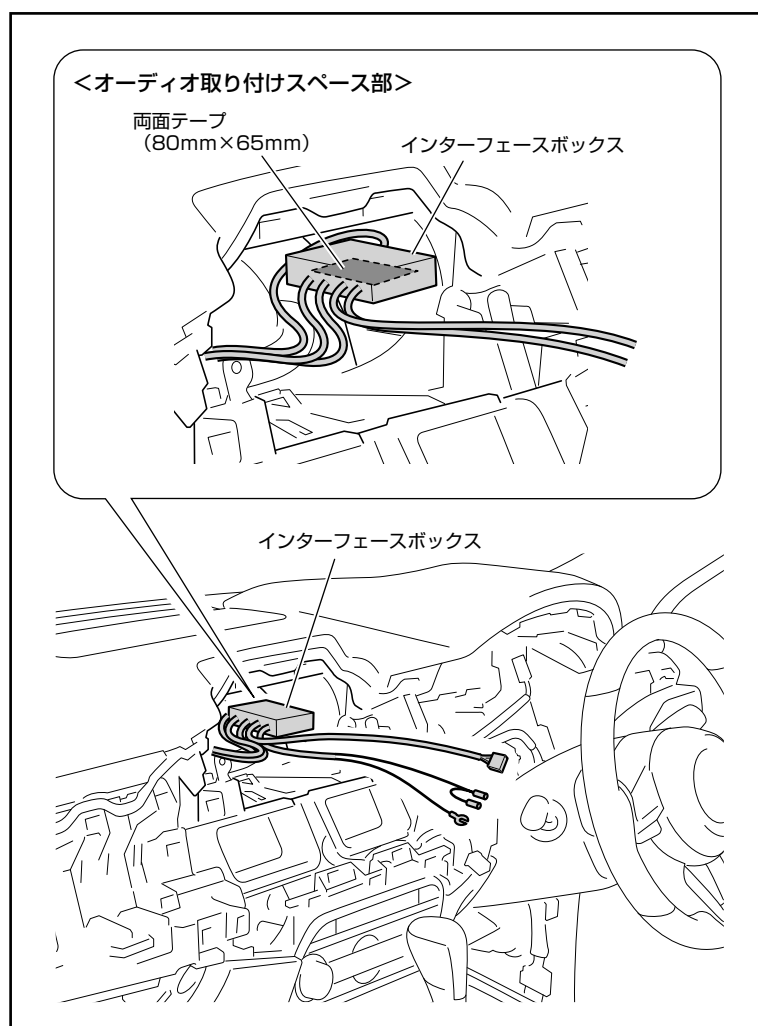
■インターフェイスボックスの設置

1. インターフェイスボックスにクッションテープを貼ります。





2. 接続図を参照し、インターフェースボックスに電源接続ケーブル、AVN接続ケーブル、フロントカメラコード(インターフェースボックス接続ケーブルB)、リアカメラコード(インターフェースボックス接続ケーブルB)、カメラ接続ケーブル、カメラ用ビデオ入力端子(インターフェースボックス接続ケーブルB)を接続します。



3. インターフェースボックスの裏側(ラベルの無い方)に両面テープを貼り付け、オーディオ取り付けスペース奥に設置します。

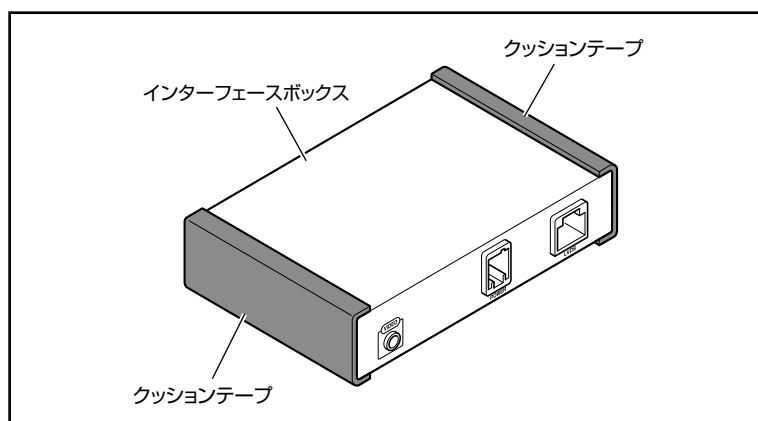
⚠ 注意	●インターフェースボックスに接続される各コード類に無理な力がかからないように取り付けてください。各ケーブルの根元から90度曲がるような急激な屈曲は避けてください。
	●水や液体のかからない場所に設置してください。
	●車両可動部や車両部品の妨げにならない場所に設置してください。

4. 電源接続コードのアースコードを車両の金属部分に接続します。

⚠ 注意	必ずテスターで導通の確認をしてください。
-------------	----------------------

5. 基本接続図を参照して、電源接続ケーブルの電源コードを電源コードのバッテリー電源コードに接続します。
6. 基本接続図を参照して、AVN接続ケーブルをカメラコードのカメラダイレクト接続端子に接続します。

7. インターフェースの設置



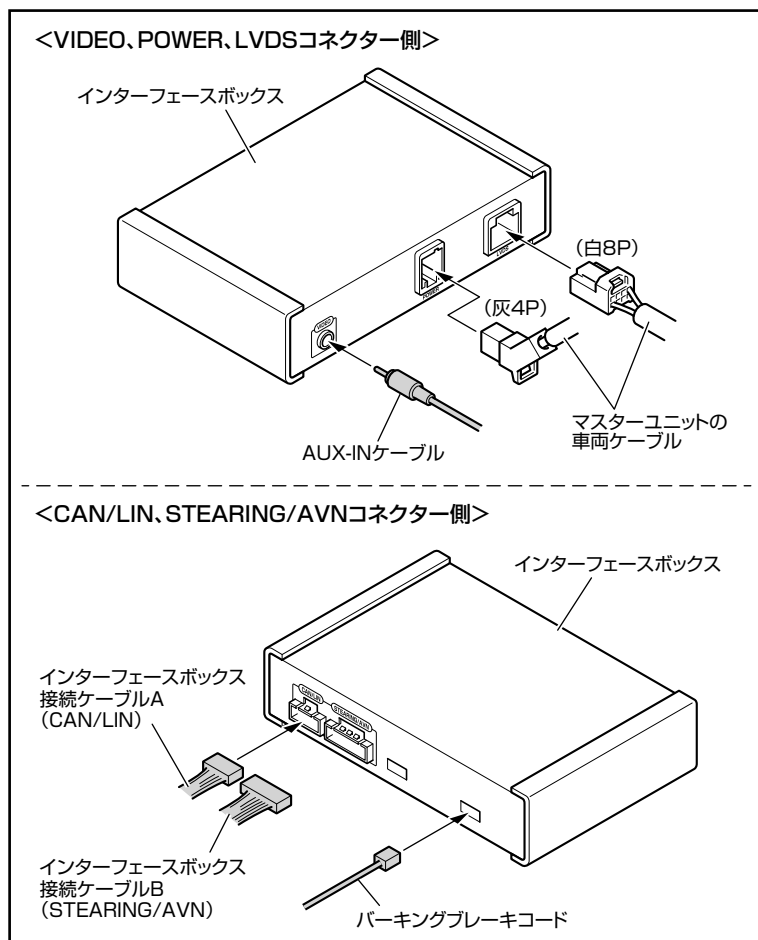
■クッションテープの貼り付け

1. インターフェースボックスにクッションテープを貼り付けて保護します。



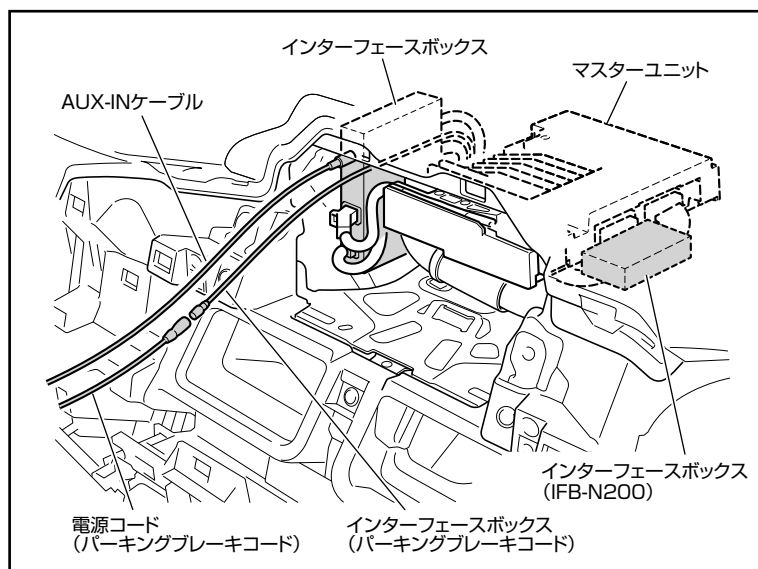
注意

クッションテープは必要な長さにカットして使用してください。



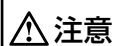
■各ケーブルの接続

1. 接続図を参照して、インターフェースボックスに各ケーブルを接続します。



■インターフェースボックスの設置

1. オーディオ取付部左奥にインターフェースボックスを設置します。

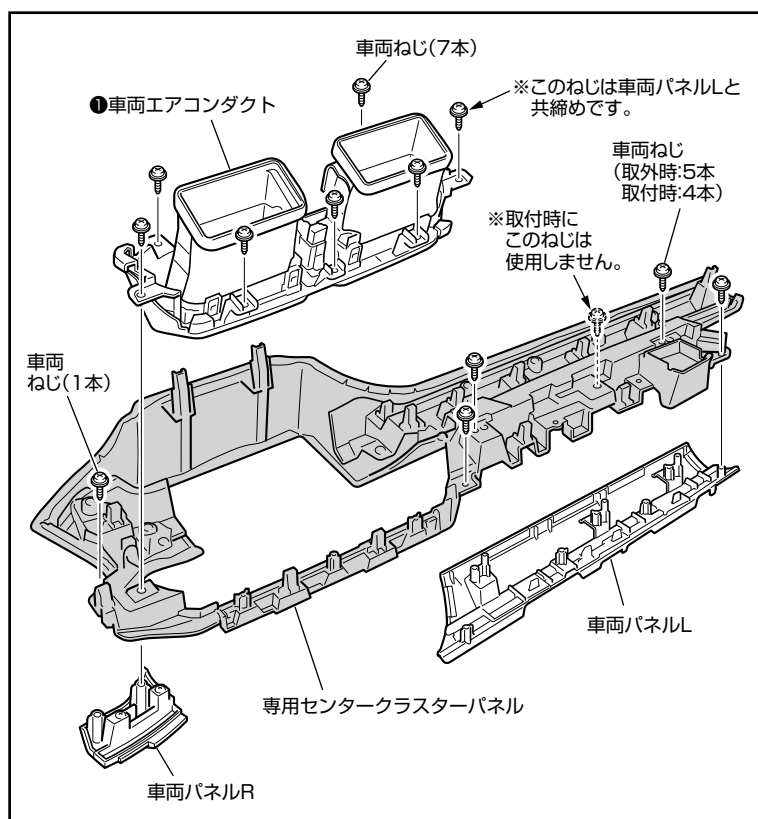


注意

ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

2. インターフェースボックス（パーキングブレーキコード）に電源コード（パーキングブレーキコード）を接続します。

8. 専用パネルの取り付け



■専用クラスターパネルの取り付け

1. 車両センタークラスターパネルから、エアコンダクト(ねじ7本)、パネルL(ねじ5本)、パネルR(ねじ1本)を取り外します。

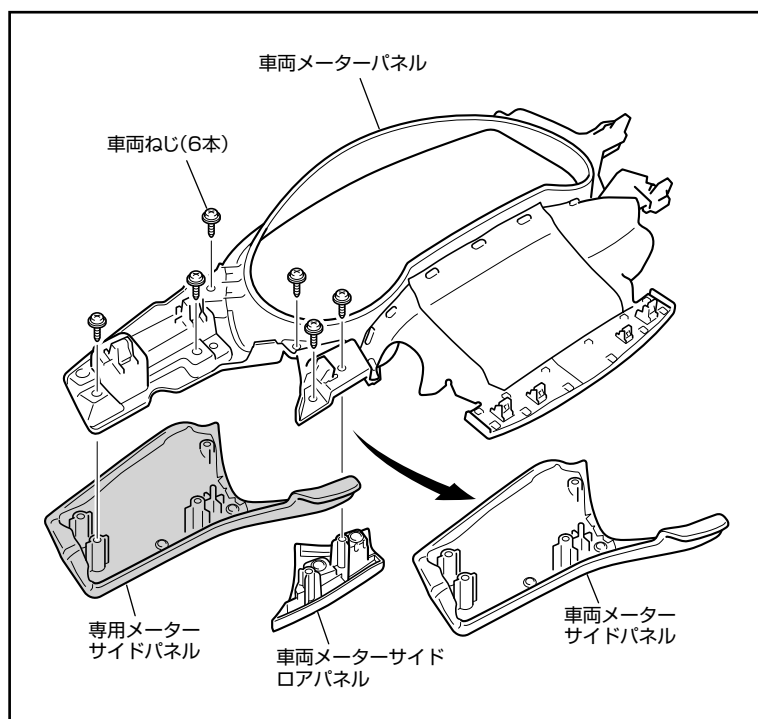


注意 エアコンダクトを先に外してからパネルLを取り外してください。

2. 専用クラスターパネルに取り外した車両エアコンダクト、車両パネルL、車両パネルRを取り付けます。



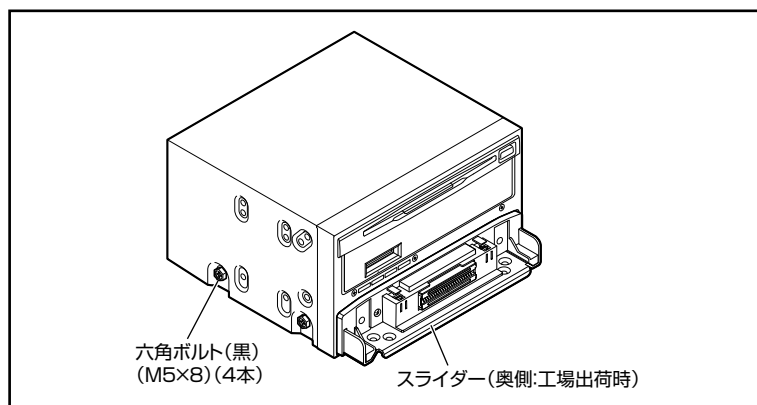
注意 パネルLを取り付けてからエアコンダクトを取り付けてください。



■専用メーターサイドパネルの取り付け

1. 車両メーターパネルから、メーターサイドロアパネルとメーターサイドパネルを取り外します。
2. 専用メーターサイドパネルとメーターサイドロアパネルを車両メーターパネルに取り付けます。

9. ナビゲーション本体の取り付け



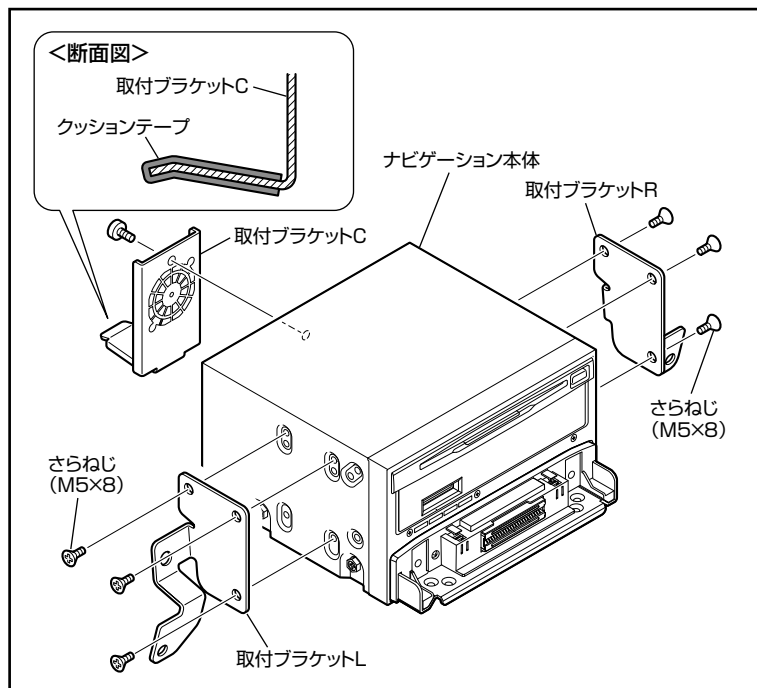
■ディスプレイユニットの前後位置

工場出荷時の状態からスライダーを変更する必要はありません。



注意

スライダーにガタつきがある場合は、六角ボルト(黒)(M5×8)(4本)に緩みがないか確認してください。



■ナビゲーション本体の取り付け

1. 取付ブラケットCにクッションテープを貼り付けます。



注意

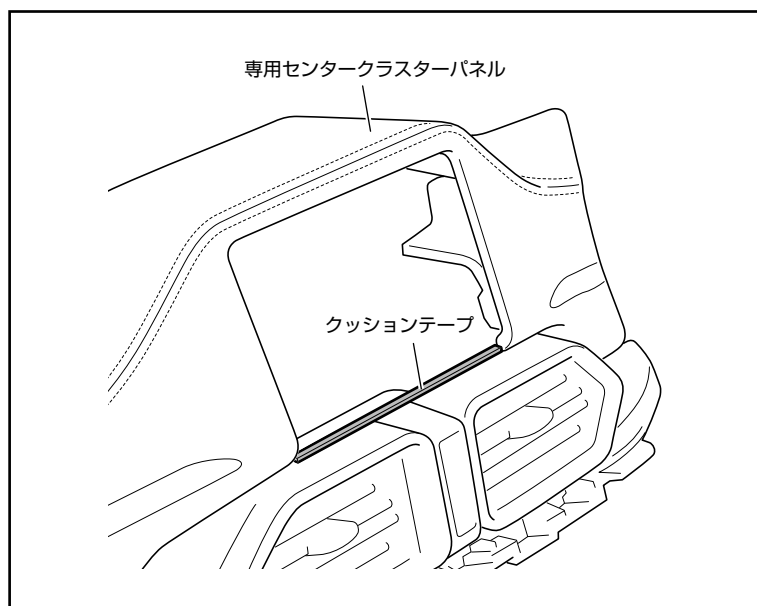
クッションテープは必要な長さにカットして使用してください。

2. 取付ブラケットをナビゲーション本体に取り付けます。



Memo

ナビゲーション本体のねじ穴と取付ブラケットの穴が中心で合うように取り付けてください。

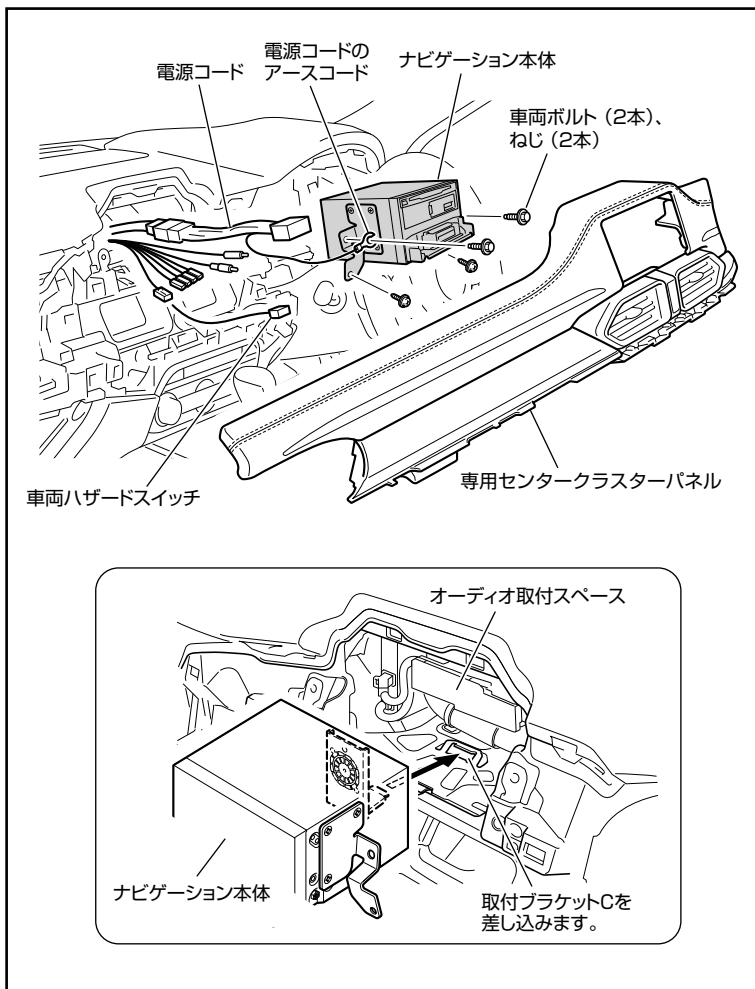


3. 専用センタークラスターパネルの開口部下側にクッションテープを貼り付けます。



注意

クッションテープは必要な長さにカットして使用してください。



4. 接続図を参照して、配線を接続します。

⚠ 注意

「バックグラウンドサーチ」機能が正常に働くように、ナビゲーションのアンテナ端子は必ず下記の組み合わせ通りに接続してください。

アンテナコード (コード番号)	①	②	③	④
ナビ背面の アンテナ端子位置	1	2	3	4

5. ナビゲーション本体をオーディオ取付スペースに取り付けます。

⚠ 注意

- 電源コードのアースコードを取付ブラケットL上側のボルトに共締めしてください。
- ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

6. 専用センタークラスターパネルを取り付けます。

⚠ 注意

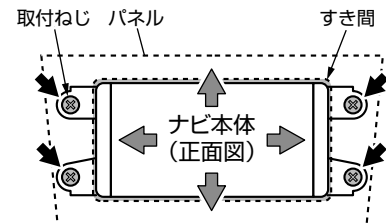
ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

Memo

- 本製品は、取付け時の誤差を解消するため、ブラケット固定位置を調整可能に設計されています。
- 取付け後、センタークラスターパネルとナビゲーション本体の位置が合っていない場合は、以下の手順で位置合わせを行ってください。

■ナビゲーション本体の固定について

ナビゲーション本体の固定位置を調整し、ナビゲーション本体と車両側のパネルのすき間に偏りが無い事を確認してください。



※イラストはイメージです。

10. 車両部品の復元

■車両部品の復元

1. 取り外した車両部品を元通りに復元します。

⚠ 注意

ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

11. ディスプレイユニットの取り付け

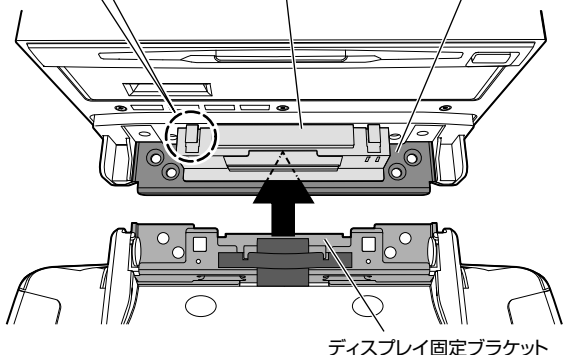
端子保護カバーのフックがロックするまで奥に差し込んでください。

フック 2カ所



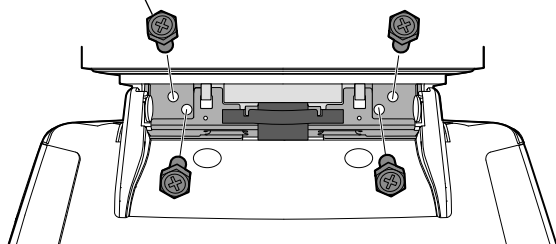
※ディスプレイユニットを取り外す場合は、端子保護カバーのフックが破損しないよう注意してください。

端子保護カバー ベースブラケット



ディスプレイ固定ブラケット

六角ボルト(黒)(M5×8) (4本)



■ディスプレイユニットの取り付け

1. モニターのディスプレイ固定ブラケットの下側を、ナビゲーション本体スライダーのベースブラケットと端子保護カバーの間に差し込みます。

2. 六角ボルト(黒)(M5×8) (4本) でしっかり固定します。



注意

六角ボルトでしっかり固定されていない状態でディスプレイの角度調整は行わないでください。

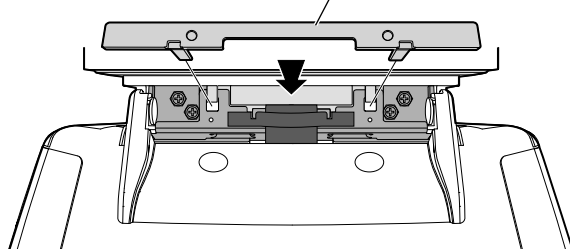
3. ディスプレイ検出プレートを取り付けます。



注意

ディスプレイ検出プレートを取り付けないとディスプレイに電源が入りません。必ず取り付けてください。

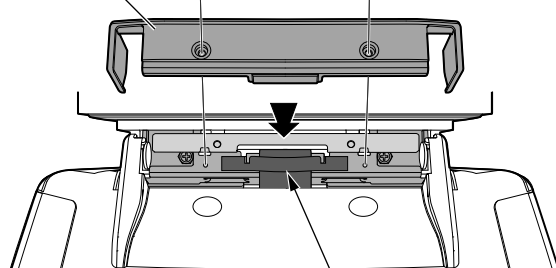
ディスプレイ検出プレート



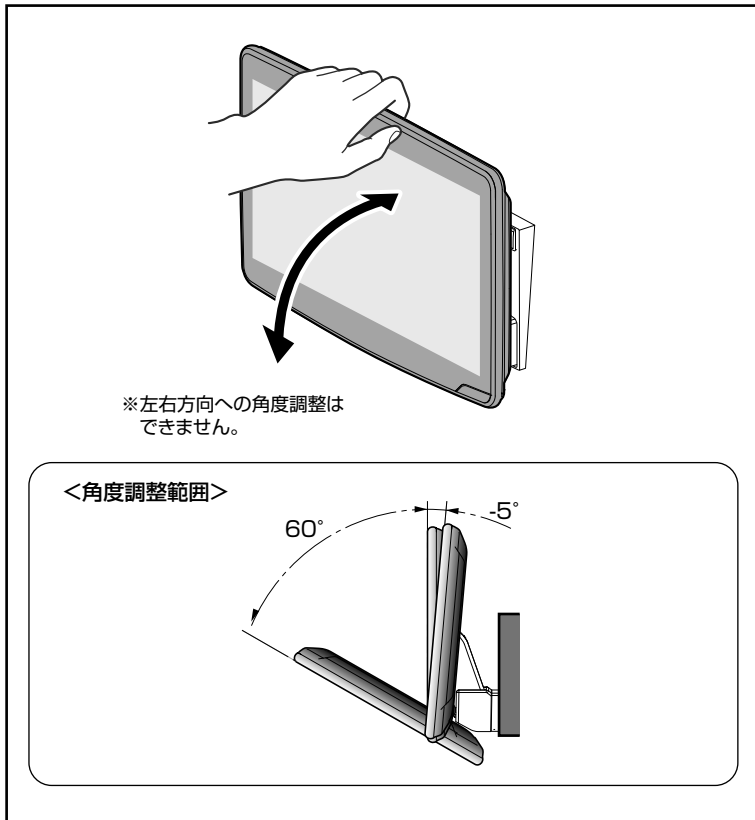
目隠しカバー

目隠しシール(2枚)

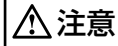
ネジ(黒)(M3×4) (2本)



接続端子部分を傷つけないよう注意し、目隠しカバーで押さえつけながら固定してください。



5. ディスプレイの上側を持って角度を調整します。



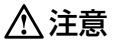
注意

- システムアップ等で本機を取り外す場合は、必ず本機の電源を切ってからディスプレイユニットを取り外してください。
- ディスプレイユニットをナビゲーション本体から取り外す際は、ディスプレイユニットを落下させないように注意してください。

12. 車両部品の動作確認

■動作確認

1. 電源が入ることを確認します。



注意

バッテリーのマイナス端子を接続する際にステアリングが0時の位置に合っていることを必ずご確認ください。

2. 「[7](#) 接続確認/システム設定」を参照し、接続状況を確認します。

1. 車種専用チューニングを行う

アルパイン製ナビゲーションには、各適合車種の車種専用チューニングデータを格納しています。
 (専用オープニング画面やアルパイン製カメラ接続時のガイド線調整、サウンドチューニングなどが簡単に行えます)
 設定方法は下記の設定手順を参照ください。

ナビゲーションの生産時期によって格納されている車種専用データは異なる場合があります。
 最新の車種専用データはアルパインホームページからダウンロードできます。
<https://www.alpine.co.jp/support/download/>



車両側の生産時期によって、カメラガイド線などの設定値が異なる場合があります。
 必ず取り付ける車種・年式のデータを選択して設定してください。

■車種専用チューニングの手順

車種 / グレード、組み合わせる製品によって設定が異なります。以下手順にて操作してください。

【操作手順】

製品起動時に「ようこそ」画面が表示された場合は **はじめる** に
 タッチしてください。(車種専用チューニング画面へ移行します)
 「ようこそ」画面が表示されない場合は以下手順で設定を行って
 ください。



※下記は XF11NX/XF11NX2 シリーズの場合の操作手順です。
 XF11Z シリーズの操作手順についてはナビゲーション付属の取扱説明書をあわせて参照してください。

1. (メニュー)スイッチ ▶ **設定** ▶ **車種専用チューニング** ▶ **車種選択** ▶ **リストから選択**
2. メーカーを選択 ▶ **決定** ▶ 車種を選択 ▶ **決定**
3. 接続機器の設定 ▶ **決定**

・カメラ接続

- ・インターフェースボックス リアカメラ接続 : サイドモニター&バックガイドモニター装着車の場合・・・ **純正バックカメラ**
 : 360°ビュー・モニター装着車の場合・・・・・・・ **純正バックカメラ(360°)**
- ・インターフェースボックス サイドカメラ接続: **カメラ なし**
- ・インターフェースボックス ルームカメラ接続: **ルームカメラ なし**

・サブウーファー : **あり** または **なし**

・ステアリングリモコン : **設定する**

・リアビジョン : **あり** または **なし**

※リアビジョン設定がある車種を選択し、リアビジョンリンク対応リアビジョンを設定している場合のみ
 リアビジョン選択画面が表示されます。

4. 設定内容を確認 ▶ **決定** ▶ メッセージを確認 ▶ **はい**
5. 再起動後、設定した車種のオープニング画面で起動すれば設定終了です。

・車種専用チューニング完了後に以下の操作を行ってください。

1. (メニュー)スイッチ ▶ **設定** ▶ **各種設定** ▶ **接続機器** ▶ **インターフェースボックス 汎用カメラ接続** ▶ **サイドカメラ** に設定



■接続確認を行います

取り付けが終わったら、配線が正しく接続されたか確認をしてください。

本体の電源を入れて、GPSアンテナ、電源コード、周辺機器の接続状況を画面表示で確認することができます。また、本機の動きがおかしいときにも見てください。接続しているのに、「未接続」と表示されたらコード類を確認しましょう。

1 [Ⓐ]スイッチを押します。

ナビメニュー画面が表示されます。

2 情報/更新 にタッチします。



3 車両情報 タブにタッチし、車両情報 にタッチします。



車両情報画面が表示されます。



- 車速パルスは、停車時等車速が入っていない時はOFFと表示されます。



- リアカメラの接続状態は、バックカメラを接続した場合「未接続」と表示されますが、カメラ画面が表示されていれば問題はございません。
- 車速パルスは、停車時など車速が入っていない時はOFFと表示されます。

■フロントカメラ設定を行います（360°ビュー・モニター装着車の場合）

本製品ではナビゲーションのフロントカメラ表示モードを使用して、360°ビュー・モニターの映像をナビゲーション画面に表示させることができます。

以下手順で設定を行ってください。

1 [Ⓐ]メニュースイッチを押して 設定 にタッチする。



2 各種設定 にタッチする。



3 接続機器 にタッチし、インターフェースボックス フロントカメラ接続 にタッチする。



4 あり にタッチする。



■【*】オプションキーにフロントカメラを登録します

ナビゲーションの【*】スイッチで360°ビュー・モニターの映像をナビゲーション画面に表示できるように設定します。

【*】1回押しでダイレクトにフロントカメラ表示モードに切り替わるようにする場合は、以下手順で設定してください。

1 【*】スイッチを1秒以上押す⇒画面右下の「+」にタッチすると画面が左のように切り替わるので、**1回押し** の **変更** にタッチする



2 選択リストから **フロントカメラ** にタッチして **完了** にタッチする。



3 **1回押し** の欄が **フロントカメラ** になっていることを確認したら **戻る** にタッチする。



⚠ 注意

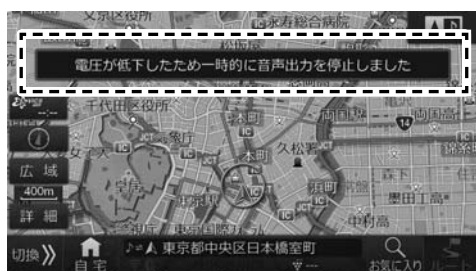
- フロントカメラ接続 **なし** に設定されている時は選択リストに表示されません。
- カメラダイレクトキー設定 (ナビゲーションの取扱説明書P.131)を **あり** に設定している場合は、フロントカメラは選択リストに表示されません。
- 【*】スイッチには他の機能も設定できます。詳しくはナビゲーションの取扱説明書P.31を参照してください。

使用方法の詳細については、「マツダコネクト クイックマニュアル」を参照してください。

■使用上のご注意

本製品のボリュームを21以上で使用している場合、アイドリングストップ状態からのエンジン再始動の際に、アンプの機能を保護するために一時的に音声出力を停止する場合がございます。

(画面上に以下のメッセージを表示します)

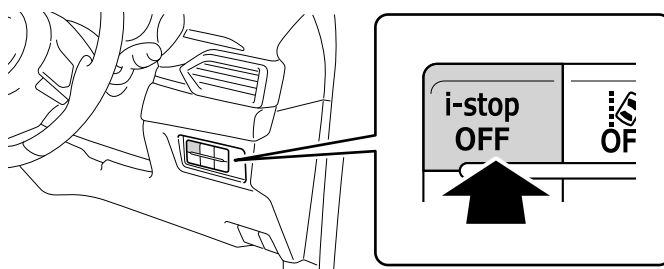


以下の条件でご利用いただく場合は本事象は発生しません。

- ・ボリューム20以下で使用する。
- ・アイドリングストップ機能をOFFにする。

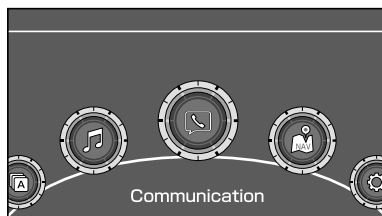


アイドリングストップ機能をOFFにした状態でエンジンを停止した場合、次にエンジンを始動するとアイドリングストップONの状態に戻ります。



本製品は、マツダコネクトの画面をナビゲーションの外部入力に映し、車両のスイッチで操作することができます。
機能や操作の詳細については、車両に付属の車両取扱書を参照してください。

1. [AUDIO 🎵] ボタンを押し、**外部入力** にタッチします。



※この時点ではコマンダースイッチの操作はできません。

マツダコネクトの画面はコマンダースイッチで操作できます。(次項目参照)
タッチパネルと音声認識は使用できません。

- 
Applications : 快適ドライブに関する情報を表示します。
 - 
Entertainment : エンターテインメント画面を表示します。
(音声は出ません)
 - 
Communication : コミュニケーション画面を表示します。
(音声は出ません)

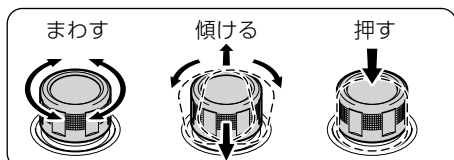
通常時は誤作動防止のため、コマンダースイッチによるマツダコネクトの操作は無効になっています。ホームボタンを「**3秒間長押し**」することで、コマンダースイッチの操作が有効になります。

※15 秒間無操作が続くとコマンドスイッチの操作が再び無効になりますので、再度操作する際は、ホームボタンを 3 秒間長押ししてください。

Diagram of the Commander Pad controls:

- エンターテインメント (Entertainment) - Button with a musical note icon.
- ホーム (Home) - Button with a house icon.
- NAV - Navigation button.
- PUSH - Button with a speaker icon.
- VOL - Volume control knob.
- お気に入り (Favorite) - Button with a star icon.
- 戻る (Back) - Button with a left arrow icon.
- コマンダーノブ (Commander Knob) - The central circular control.

- 🏠** : ホーム画面を表示します。
(長押し) コマンドースイッチの操作を有効にします。
- 🎵** : エンターテインメント画面を表示します。(音声は出ません)
- NAV** : マツダコネク트의ナビを表示します。(音声は出ません)
- ★** : 長押しするとお気に入り登録できます。(音声は出ません)
- ↶** : 1つ前の画面に戻ります。
- 👉** : コマンドーノブ: 項目の選択・決定を行います。

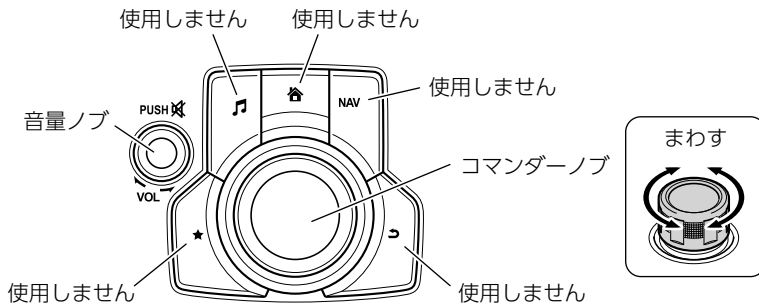


画面上では全ての項目が表示されますが、本製品ではマツダコネクトの音声は出力されませんので、音声を伴う機能は使用できません。(設定操作は可能ですが、音声は出力されません)

オーディオを操作する

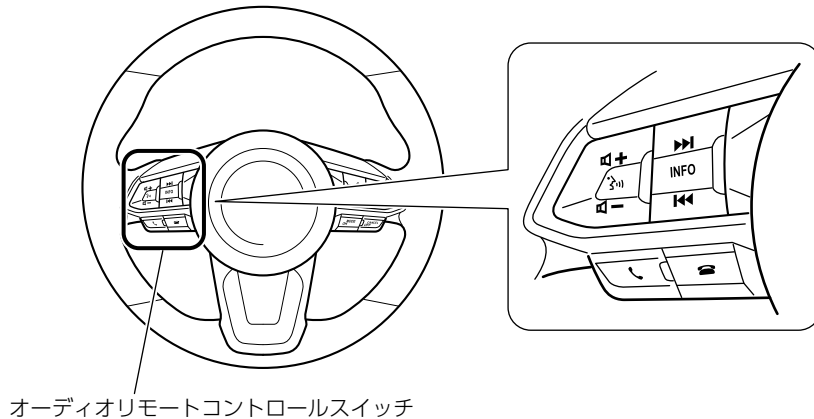
コマンダースイッチ、またはオーディオリモートコントロールスイッチで、ナビゲーションのオーディオ操作を行うことができます。

■コマンダースイッチの操作



音量ノブ：ナビゲーション本体の音量を調節します。
(消音は機能しません)
コマンダーノブ：回してトラックのアップ・
ダウンを行います。

■オーディオリモートコントロールスイッチの操作



オーディオリモートコントロールスイッチ

- 🔊+🔊-：オーディオ・ビジュアルソースの音量を調整します。
- ⏮️⏭️：選局・選曲を行います。
2秒以上押すと早送り／早戻しを行います。
- 📶：ダブルゾーンコミュニケーションのON/OFFを行います。
- ☎️：電話を受けます。
- 📞：電話を切ります。

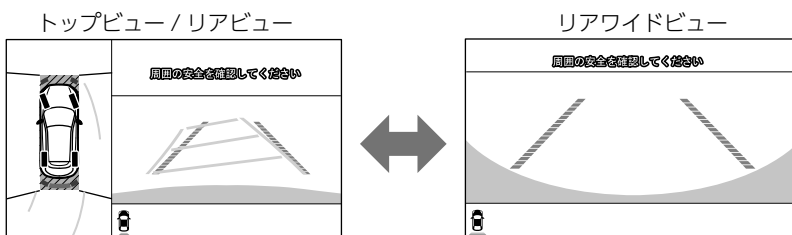
リアカメラの映像を表示する

セレクトレバーをRに入れると、ナビゲーションの画面にリアカメラの映像を自動的に表示することができます。

■カメラ映像を切り替える

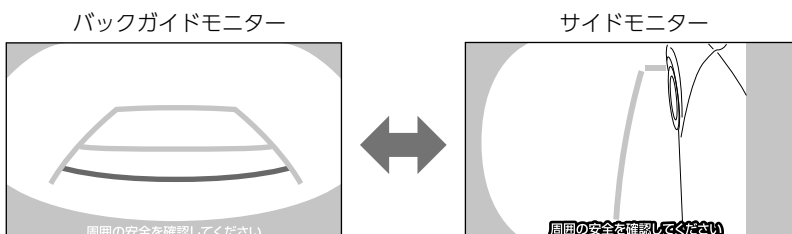
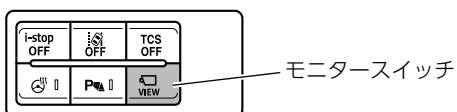
<360° ビュー・モニター搭載車の場合>

リアカメラの映像を表示中にコマンダーノブを押すことで、表示する画面を切り替えることができます。



<360° ビュー・モニター非搭載車の場合>

リアカメラの映像を表示中にモニタースイッチを押すことで、表示する画面を切り替えることができます。

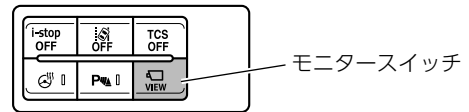


⚠️ 注意 ●モニタースイッチを押してから15秒間無操作が続くとコマンダーノブでのカメラ画面切り替えモードが解除されます。
(もう一度モニタースイッチを押すことで操作可能になります)

ボイスタッチ機能で純正カメラの映像を表示する

ナビゲーション側の映像ソースの状態に関わらず、純正カメラの映像を表示することができます。
セレクトレバーが R 以外のときにボイスタッチ、または【*】ボタンを押してからモニタースイッチを押すと、ナビゲーションの画面にフロントカメラまたはサイドカメラの映像を表示することができます。

- ・360° ビュー・モニター搭載車：車両側で選択されているカメラの映像
- ・360° ビュー・モニター非搭載車：サイドカメラの映像

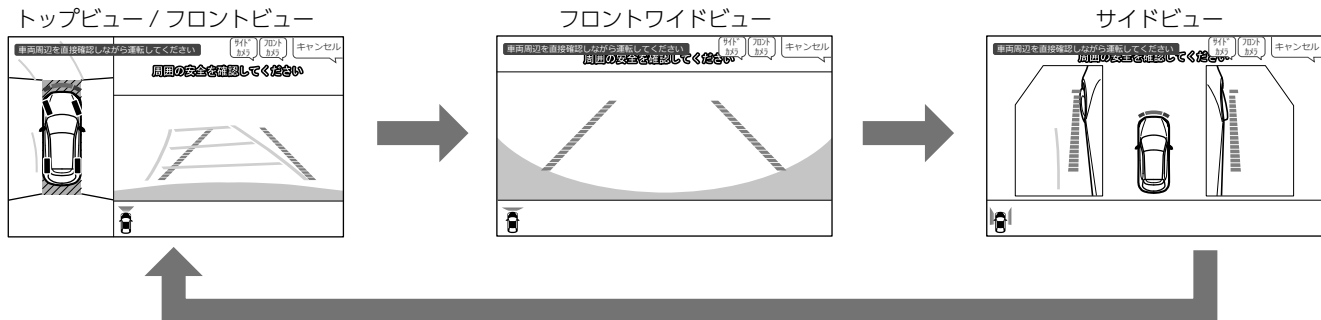


モニタースイッチ

■カメラ映像を切り替える

<360° ビュー・モニター搭載車の場合>

360° ビュー・モニターの映像を表示中にコマンダーノブを押すことで、表示する画面を切り替えることができます。



<360° ビュー・モニター非搭載車の場合>

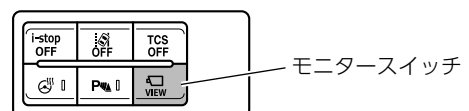
モニタースイッチを押すごとに、サイドカメラの映像の表示 / 非表示を繰り返します。

- ⚠ 注意**
- ボイスタッチおよび【*】スイッチでカメラ画像を呼び出す場合は、ナビゲーション側をフロントカメラ「あり」に設定してください。
(設定方法は取付説明書の P.21~22 を参照してください)
 - モニタースイッチを押してから 15 秒間無操作が続くとコマンダーノブでのカメラ画面切り替えモードが解除されます。
(もう一度モニタースイッチを押すことで操作可能になります)

マツダコネクト画面に純正カメラの映像を表示する

ナビゲーションをマツダコネクト画面（外部入力）に切り替え、セレクトレバーが R 以外のときにモニタースイッチを押すと、マツダコネクト画面上に純正カメラの映像を表示することができます。

- ・360° ビュー・モニター搭載車：車両側で選択されているカメラの映像
- ・360° ビュー・モニター非搭載車：サイドカメラの映像

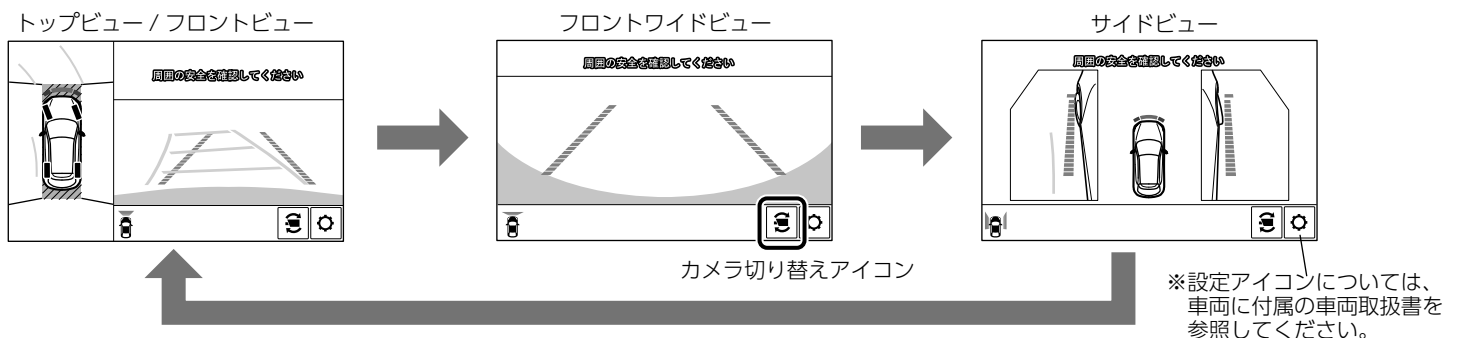


モニタースイッチ

■カメラ映像を切り替える

<360° ビュー・モニター搭載車の場合>

360° ビュー・モニターの映像を表示中にコマンダーノブを押す、または画面のカメラ切り替えアイコンを選択して決定することで、表示する画面を切り替えることができます。



<360° ビュー・モニター非搭載車の場合>

モニタースイッチを押すごとに、サイドカメラの映像の表示 / 非表示を繰り返します。

- ⚠ 注意**
- モニタースイッチを押してから 15 秒間無操作が続くとコマンダーノブでのカメラ画面切り替えモードが解除されます。
(もう一度モニタースイッチを押すことで操作可能になります)